



山川中学校だより

自律 親和 創造

第8号

令和7年12月15日(月)

文責：谷 陽子

○振り返りの季節に——あなたの「才能」は何ですか

12月も中旬となり、1年の歩みが少しずつ見えてくる時期になりました。行事に励み、仲間と協力し、日々の授業に向き合ってきた生徒の皆さんの姿を思い返すと、一人ひとりがこの1年間で確かな成長を遂げていることを感じます。だからこそ今、自分の歩みを静かに振り返り、「自分には、どんな可能性があるのか」を見つめてみる良い機会だと思います。先日の全校集会で“才能”をテーマにお話ししました。

皆さんと一緒に学校生活を過ごしていると、実にさまざまな力を発揮している姿を見ることができます。舞台上で堂々と発表する姿、コツコツと作業を続ける集中力、友だちの気持ちを受け止める優しさ、行事を陰で支える責任感——これらは当たり前のことと思えるかもしれませんが、すべて立派な「才能」です。

参考に紹介した才能の定義は、才能とは「つつい時間をしてやてしまうこと」「やったあとに『やてよかつた』と思えること」です。才能とは、誰かと比べて勝っているかどうかではなく、その人の中に自然に灯る小さな“ともしび”のようなものなのだと思います。

では、その“ともしび”はどのようなものなのでしょう。ヒントになる問いを四つ紹介しました。

- ①夢中になることは何ですか。
- ②人から「いいね」「すごいね」とほめられたことは何ですか。
- ③他の人より少し楽にできることは何ですか。
- ④時間を忘れて、つつい取り組んでしまうことは何ですか。



これらを思い返すと、自分でも気づかない才能が見えてくるかもしれません。

見つけた才能は、これからの学習や進路を考えるうえで頼もしい道しるべになります。大きな夢でなくてもかまいません。「好きだな」「おもしろいな」という感覚が、皆さん自身の未来を導いていきます。周りの大人や友だちと語り合う中で、その才能が少しずつ形になっていくことでしょう。



今年を振り返るこの季節、生徒の皆さんが自分の中の小さな才能に気づき、それを大切にしながら新しい年を迎えてくれることを願っています。

(参考文献：佐野 貴. 2025. 才能のトリセツ. PHP 研究所)

学校の様子を紹介します。

10月21日(火) 幼児ふれあい体験学習(3年生)

技術・家庭科の学習の一環として、山瀬かもめこども園で幼児とのふれあい体験をしました。生徒たちは、常に笑顔で、幼児と楽しくふれあい、学びを深めることができました。ご協力、ありがとうございました。



10月下旬 ふれあい食体験(2年生)

2年生は、吉野川市学校給食センターに行き、郷土料理の調理実習に挑戦しました。始めに、食育パワーアップ授業として、徳島県の郷土料理について学びました。そして、郷土料理を受け継ぐために、私たちに何ができるのか考えました。その後、ヘルスメイトの方々にサポートしていただき、ばら寿司、ふしめん汁、いももちを作りました。



11月初旬 ふるさと学習(1年生)

1年生は、総合的な学習の時間でふるさとについて理解を深めました。川島町で日本料理店を経営されている阿部和剛様を講師にお迎えし、吉野川市の魅力やねさし味噌を使った郷土料理を教えてくださいました。また、美郷の地域活性化に取り組む上家博美様、上家絵梨華様、村田寛和様のご指導のもと、地域の魅力を発見するワークショップにも取り組みました。



11月7日(金) 合唱フェスティバル

生徒会役員の司会のもと、各クラスが練習の成果を発揮し、精一杯の合唱を披露しました。合唱を聴く生徒たちの姿も素晴らしく、発表者への敬意が感じられ、温かい雰囲気で開催することができました。

フェスティバルの最後には、名西高校芸術科音楽合唱部の皆さまによる素敵なパフォーマンスがあり、楽しい時間を過ごすことができました。



11月20日(木) 吉野川市中学校人権教育研究大会

本校を会場に研究大会を実施し、吉野川市内中学校の先生方に授業を参観していただきました。本大会は、生徒と教職員の双方にとって、人権について深く考える貴重な機会となりました。

公開授業では、生徒たちが学んだことを日常生活に生かすために「どのような行動をすべきか」や「誇りうる生き方とはどのようなものか」を深く追究しました。生徒たちの真剣な学びの姿勢は、参加された先生方にも伝わったことと思います。

